

製品・サービス動向-国内

■ブイキューブ:V-CUBE コラボレーションで
業界初・特許出願中の電子小黒板の重畳・
ビデオ配信機能をリリース

(8月24日)

株式会社ブイキューブ (<https://jp.vcube.com/>) (東京都港区) は、遠隔現場支援システム「V-CUBE コラボレーション」の一機能として、電子小黒板機能をリアルタイムで現場映像へ重畳、そのままビデオ通話・配信ができる機能をリリースした。また、V-CUBE コラボレーションから、電子小黒板や距離計測など、スマートフォンで手軽に使いたい機能を一部抜き出した iOS アプリ「Toolbox ツールボックス」もリリースした。



撮影 (信憑性情報埋め込み)

プレビュー確認

一覧表示

電子小黒板の重畳とライブ配信、写真撮影の様子

(ブイキューブ)

電子小黒板の重畳機能は、業界初・特許出願中。建設などの作業現場では、従来、現場に黒板を持ち込み、現場ごとに撮影をする必要があった。今回リリースする機能によって、現場で黒板を持ち運ぶ必要がなく、遠隔作業支援中も常に黒板が確認できるようになる。さらに、J-COMISIA の検定を取得した信憑性情報の埋め込みも同時にできるため、作業の効率化、利便性の向上が同時に実現できるとしている。

Toolbox は、iOS でのアプリ単独、または V-CUBE コ

ラボレーションと連携して使える電子小黒板などの機能を備えた iOS アプリ。黒板作成、黒板撮影、写真撮影・表示、距離計測 AR、黒板の重畳とライブ配信 (V-CUBE コラボレーションとの連携時のみ) の機能を搭載している。V-CUBE コラボレーションは別途申込みが必要 (有料) だが、iOS でのアプリ単独の場合、無料で使えるようになっている。

今後も現場のニーズに応える機能開発および提供を通して、インフラや建設業のコミュニケーションをアップデートし、フィールドワークの課題解消へ貢献していくとしている。

■TD SYNEX : ASUS-Google Meet hardware
kit の最新版を 9 月 1 日より販売開始

(8月26日)

TD SYNEX 株式会社 (<https://www.synnex.co.jp/>) (東京都江東区) は、ASUS JAPAN 株式会社 (<https://www.asus.com/jp/>) の法人向けビデオ会議システム「ASUS-Google Meet hardware kit」最新版、スターターキット「GQE1A-B7078UNR」を 9 月 1 日より受注開始する。

昨今、即座にどこでも会議を開けるようなソリューションが期待されているという。そういった中、ハイブリットワークのソリューション導入支援実績を豊富に持つ TD SYNEX。ASUS Japan の提供する「Google Meet」(旧称: Hangouts Meet) の日本市場展開を全面支援してきたが、この度、セットアップ、接続が簡単でストレスのない意思疎通にも有効な ASUS-Google Meet hardware kit の新製品、スターターキットを法人向けに国内初、販売開始する。

この最新版の販売は、TD SYNEX の販売パートナーのなかでも「Google Workspace」「Google Meet ハードウェア」の販売に強みを持つ国内認定リセラーを通して提供される。

2020年11月より Google Workspace の国内ディストリビューターとしての取り扱いを開始した TD SYNEX にとっての今回の提供メリットとしては、以下の3つがある。

(1) ASUS Google Meet ビジネスの国内立ち上げ当初から5年以上に及ぶ豊富な製品販売・活用知見がある。

(2) ハイブリットワークに関連する数多くのビデオ会議ソリューション導入支援を長年行ってきた実績がある。

(3) Google Workspace を ASUS-Google Meet hardware kit とセットまたは追加で提案することで、顧客企業における Google Workspace の利用促進および定着化の効果も期待できるという。

ビジネス動向-国内

■テレキューブ：東海道新幹線駅6か所にテレキューブを新規設置、テレワーク環境を整備

(8月25日)

テレキューブ株式会社 (<https://telecube.jp/>) (東京都千代田区) は、東海道旅客鉄道株式会社 (<https://jr-central.co.jp/>) (愛知県名古屋市) が取り組む駅や車内のビジネス環境整備の一環として「テレキューブ」をもとにした個室ブース「EXPRESS WORK-Booth」を提供したことを発表した。

東海道旅客鉄道は、EX サービス(エクスプレス予約・スマート EX) 会員向けワークスペース「EXPRESS WORK」の開業や駅待合室ビジネスコーナーの整備などさまざまな取り組みを行っている。今回設置する駅内の個室型ワークスペース「EXPRESS WORK-Booth」

については、2021年12月の営業開始後、順調に利用が増えており、好評に応じて、この度、新設・増設する。



EXPRESS WORK-Booth (テレキューブ)

既に設置済みである東京駅、名古屋駅、京都駅、新大阪駅に加えて、品川駅、新横浜駅、三島駅、静岡駅、浜松駅、豊橋駅の6駅で新たに EXPRESS WORK-Booth を設置する。また、東京駅と名古屋駅では、好評に応じて設置台数を増やす。これにより、のぞみ停車駅全駅に加え、主なひかり停車駅でも利用できるようになる。乗車の直前まで Web 会議やテレワークができるなど東海道新幹線での出張がより便利になるとしている。

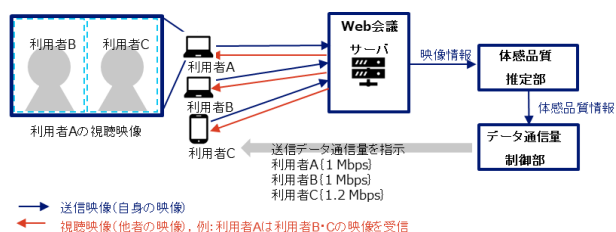
■NTT：データ通信量を制御することで途切れにくい Web 会議を実現、適正品質を保ちながらデータ通信量を最大で63%低減

(8月30日)

日本電信電話株式会社 (<https://group.ntt.jp/>) (東京都千代田区) と NTT コムウェア株式会社 (<https://www.nttcom.co.jp/>) (東京都港区) は、データ通信量を制御することで途切れにくい Web 会議を実現する体感品質・データ通信量最適化技術(以下、Mintent)を確立したと発表。

NTT はこれまでサービス利用者や提供者がサービスに求める要件がサービス毎に異なることに着目し、

Mintent の研究開発を行ってきた。異なる要件とは、たとえば、Web 会議サービス利用者は途切れにくい Web 会議を利用したいという要件、映像配信のサービス提供者はサービス利用者の視聴時間を長くしたいという要件などを指す。



体感品質・データ通信量最適化技術 Mintent (NTT)

その際、利用者ごとに異なる要件に即したサービス提供の実現が重要になる。しかしながら、要求を満たすために、ネットワーク、クラウドサーバ、アプリケーションのリソースを無制限に用意し、サービスを提供することは社会的課題でもある電力消費量の増加につながり、環境面などを考慮しても適切ではないという。

そこで、サービス利用者や提供者の要件に応じて ICT リソースを制御する技術を確立することが重要になる。

Mintent では、各サービス利用者の数十秒程度将来の体感品質が適正品質を満たすための送信映像データ通信量を、Web 会議サーバから得られるビットレートなどの映像情報から計算し、適正品質を維持可能なデータ通信量を利用端末に指示する。これにより、適正品質を満たしつつ、データ通信量を低減することができ、途切れにくい Web 会議を実現するという。

NTT と NTT コムウェアは、Mintent を用いた共同実験を実施し、Web 会議サービス「letaria」に組み込み、映像や音声の体感品質を保ちながらデータ通信量を最大 63%低減できることを共同実験で確認した。

NTT は、Mintent がデータ通信量を低減することで、利用端末の電力消費量の低減にも役立つことが期待されているため、その確認をすすめる予定。また、NTT コムウェアは 2022 年度中に Mintent の後継技術として、

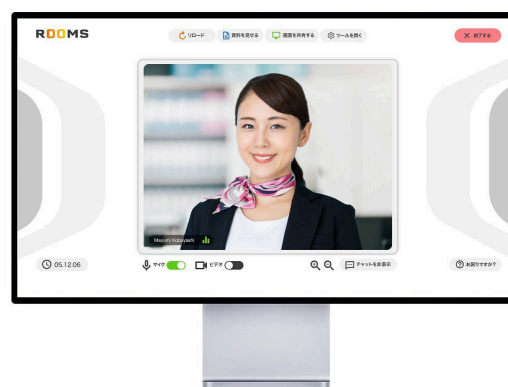
NTT が確立済みのクラウドサーバ制御技術であるサーバリソース最適化技術 (Mintent) も letaria に組み込み、システムの安定性とスケーラビリティを最適なりソース量で実現することを計画している。さらに、Web 会議だけでなく、映像配信サービスやコネクティッドカー制御に関する要件への対応など、Mintent (インターネット AI メディエータ) 技術適用に向けた検討を進める。

導入利用動向-国内

■Bloom Act：日本郵便、オンライン相談にオンライン相談システム「ROOMS」を採用

(PRTIMES：8月22日)

株式会社 Bloom Act (<https://bloomact.co.jp/>) (茨城県つくば市) は、日本郵便株式会社 (<https://www.post.japanpost.jp/>) (東京都千代田区) が行う郵便局のオンライン相談サービスの一環として、オンライン接客システム「ROOMS」 (<https://rooms-online.jp/>) が採用された、と発表した。



Rooms イメージ (Bloom Act)

日本郵便では、お客様がどこでも郵便局に相談できる環境を整備するため、一部金融商品のオンライン相談を可能にする体制作りに取り組んでいる。オンライン相談のインフラ構築を進めるにあたって、より利便性・操作性の高いオンライン相談システムとして Bloom Act の ROOMS が採用された。日本郵便での使

用開始は10月以降を予定している。

ROOMSは、パソコン・スマホ・タブレットからワンクリックで簡単につながれる高い接続性・初めてシステム操作をする方でも容易に扱える優れた操作性、対面相談と変わらない顧客体験をオンラインでも忠実に再現できる豊富なプレゼン機能などが主な特徴。主な機能としては、4拠点同時接続、名刺お渡し、デスクトップ共有、ステルスメモ、チャット、ファイル送信、背景ぼかし、音声自動議事録、商談履歴、Outlook・Googleカレンダー連携、Salesforce連携、HPとのカレンダー連携、アクセス解析、表情発話分析、自社ロゴへの差し替え（オリジナルデザインルーム）などがあり豊富な機能を搭載している。加えて、担当者の空き状況をカレンダーで確認して予約するといったカレンダー機能もある。

セキュリティ対応の面では、サービス提供に係わる全ての通信を、銀行の取引やクレジット決済にも使用されている TLS1.2 およびそれに準拠する形式でエンドツーエンド暗号化（E2EE）に対応している。通信の中継・データの保管を行うサーバも全て国内設置。また、第三者機関による定期的なセキュリティリスクチェックに加え、WAF（Web Application Firewall）による通信の監視・保護も24時間実施するなど、セキュリティ最優先の運用を行っているという。さらに、IPアドレス制限、二段階認証、パスワード定期強制変更機能もオプション（無料）で付加できるため、各企業のポリシーに沿った運用が可能となっている。なお、Bloom Act は企業としても情報セキュリティの国際規格 ISO27001（ISMS 認証）も取得している。

セミナー・展示会情報

<国内>

■Miro 基本トレーニング：はじめての Miro

日時：9月7日（水）13:00～14:00

9月21日（水）13:00～14:00

会場：オンライン（Zoom）

主催：ミロ・ジャパン合同会社

詳細・申込：<https://miro.com/ja/blog/training-a/>

■Zoom Rooms & Neat 体験会 In 広島・福岡

日時：9月8日（木）9:00-18:00（広島）

9月9日（金）9:00-18:00（福岡）

会場：TKP ガーデンシティ PREMIUM 広島駅前（広島） /

日商エレクトロニクス九州支社(福岡)

主催：日商エレクトロニクス株式会社 /

ZVC Japan 株式会社/Neatframe Ltd

詳細・申込：

<https://zoom.nissho-ele.co.jp/event/zoom-rooms-in-hiroshima-fukuoka.html>

■AVer リモートカメラ+Shure 天井設置型マイクロホンで組む「ハイブリッド会議・ハイブリッド授業向け カメラ自動追尾システム」

日時：9月15日（木）と16日（金）10:00/14:00

（※各回60分、4回のセッションは同内容です）

主催：シュア・ジャパン株式会社 /

アバー・インフォメーション株式会社

詳細・申込：<https://shu.re/3ArdE7C>

■ブイキューブセミナー情報（9月）

「成功に導く！大手企業が選んだオンラインセミナー（ウェビナー）& 配信サポートサービスとは？」 「テレキューブ体験会」 「働き方改革を加速！ワークブースの選び方」 「エンジニア新人研修を大公開！ビデオ通話・ライブ配信アプリ作ってみた」 など

会場：オンライン / オンデマンド

詳細・申込：<https://jp.vcube.com/event/all>

■Webex Meetings 関連ウェビナー（9月）

「「入社からずっとハイブリッドワーク!？」 Z世代と語る、これからの働き方」「コミュニケーション手段にも代替オプションを！ビジネスの継続に備えるために、Webex Appのメッセージング勉強会」「オンラインイベント開催の敷居は高くない。マーケティング活動にマルっと役立つWebex Webinarsのご紹介」など（録画も視聴できます）
主催：シスコシステムズ合同会社

詳細・申込：https://www.cisco.com/c/m/ja_jp/training-events/events-webinars/collaboration-webinars.html

国内その他：<https://cnar.jp/cna/event-j.html>

海外その他：<https://cnar.jp/cna/event-r.html>

※イベント情報は随時情報が入り次第掲載しております。
CNAR.jp サイトの情報もご参照ください。

業界の動き

遠隔会議・UC 業界は日々さまざまな動きがあります。この定期レポートの発行は月2回（プレスリリースと取材に基づく記事のみ）ですが、CNA レポート・ジャパンでは、それ以外の業界の動きに関連した国内外の情報を日々皆さんと共有しています。皆様の情報収集のひとつとしてご活用いただければ有難いです。

■フェイスブック（遠隔会議&UC トレンドワッチ）

<https://www.facebook.com/unifiedcom>

■Twitter（遠隔会議&UC トレンドワッチ）

<https://twitter.com/cnarjapan>

■メーリングリスト（dte-forum）

<https://cnar.jp/cna/dteforum-ml.html>

定期レポートバックナンバー

定期レポートのバックナンバー（1999年～最新号）は下記 URL で閲覧できます。

<https://cnar.jp/cna/cnareportarchive.htm>

CNAレポート・ジャパン 2022年8月31日号おわり

ホームページ：<https://cnar.jp> お問い合わせ：cnar@cnar.jp